



青葉みらいづくり大学校 2022 開校

地域の「困った!」を「いいね!」に

青葉みらいづくり大学校は、地域で活躍する人材の確保や育成を目的に、地域の課題解決や魅力づくりの手法を学ぶ場として実施しています。今年度は、地域の「困った!」を持ち寄って、みんなのアイデアで「いいね!」に変えるまちづくり講座です。たくさんの「いいね!」を地域に持ち帰ることで、自治会・町内会活動が、住む人誰もが参画できるまちづくり活動だと改めて感じていただければと思っています。受講生の皆様、一緒に青葉のまちづくりに取り組んでいきましょう!

今年度は、地域の皆様にも青葉みらいづくり大学校に関心を寄せていただければと願い、「青葉みらいづくり通信」を発行していきます。講座の様子や青葉区の15連合自治会・町内会長のインタビューなどをお届けします。自治会・町内会のことを、もう少し知りたいなと思っていただければ嬉しいです。どうぞよろしく願いいたします。

- 日 程：11/13 (日)・11/26 (土)・12/17 (土)・1/21 (土)・2/4 (土)
- 内 容：基調講演、まち探索、グループワーク、マイプラン発表など



自治会長に聞いてみよう!

青葉区連合自治会長会 会長 関根 宏一さん
奈良町連合自治会長

NARACHOU



子どもが笑顔で活動していることが一番嬉しい



青葉みらいづくり大学校の学長でもある関根会長

自治会活動で嬉しかったことは?

子どもが大好きなんです。子どもたちが笑顔で活動していることが一番嬉しい。防犯活動に小学校の保護者が積極的に参加してくださることも、ものすごく嬉しいですね。

地域の一押しスポットは?

横浜の多くの子どもが1度は行ったことがある「こどもの国」ですね。

地域活動を続けるコツは?

子ども中心で動いています。マンションやアパートの人たちが自治会へ加入する率は低いのですが、お子さんたちは1日でもそのまちで育ったということは、そのまちが一生残る思い出の地になると思うので、イベントや何の活動にしても、子どもを中心にと考えています。

好きな言葉は?

「明鏡止水」(めいきょうしずい)です。



自治会長に聞いてみよう！

青葉台連合自治会長 山川 英子さん

AOBADA I



地域活動を続けるコツは？

毎月の環境浄化活動は、効率良く負担を減らす工夫をして長年続けてきました。同じ地域に3つある商店会は、道は一本でつながっているのだからと、声をかけあって仲良くなったことも良かったなと思います。ボランティア活動でありながら、お金もかけて、場所と人材、この3つを上手にミックスすると色んなことができます。

地域の一押しスポットは？

桜台公園じゃないかな。里山の風景を残したいという方針なので、手入れを極端にしない、そのままの自然があります。

「やめるのは簡単
とりあえずやる」が
私の信条です

自治会活動で嬉しかったことは？

区民まつりでアイデアを出して「射的」を行いました。スタッフから大人気で完売と聞き嬉しかったです。スタッフは38名。ちょっと声かけするとこんなに集まってくれる、有難いですね。

好きな言葉は？

皆さんと一緒に、道は1本、みんな仲良し。



「声をかけ合うことが大事」と山川会長

とやお
荏田西連合自治会長 鳥屋尾 彰さん



EDANISHI

自治会活動で嬉しかったことは？

行政からの依頼が実は多いんです。人を出してくれとか、色々出てくるんですね。それを各自治会の人にお願すると、快く引き受けてくれる方が出てくるんですよ。それが非常に嬉しいですね。

地域の一押しスポットは？

泉田向公園がきれいです。ラジオ体操を週1回やっていて、私もCDを持っていく音楽係ですと皆勤です。荏田西地区4つの公園でそれぞれ曜日をずらしているので、それを全部回る元気な人もいますよ。

協力して
作り上げる体験が
継続のコツです



好きな言葉は「大器晩成」の鳥屋尾会長

地域活動を続けるコツは？

みんなで協力して夏のお祭りや防災訓練の2つ大きなイベントをやっています。事前に計画し準備して実施する。そういう達成感っていうかね、色々あるんですけど協力してやっていくというのが、継続のコツになるのかな。協力して作り上げる体験ですね。

発行年月日：2022年11月13日

発行・編集：青葉区役所 区政推進課 地域力推進担当 NPO 法人まちラボ

問合せ：青葉区役所 区政推進課 地域力推進担当 045-978-2286 ao-chiikiryouku@city.yokohama.jp



企画・運営

NPO 法人まちラボ

NPO 法人まちラボは、学ぶ・楽しむ・きっかけづくり、集う・つながる・居場所づくり、助け合う・あたたかな関係づくり
誰もがまちづくりの当事者として参画できる地域社会を目指して活動しています。



開校式・基調講演 11/13

青葉みらいづくり大学校 第1回

「青葉みらいづくり大学校 2022」の開校式が、11月13日（日）に青葉区役所で開催されました。開校式では、地区連合自治会・町内会長の皆様にもご臨席いただく中、学長である青葉区連合自治会会長の関根会長からのご挨拶に続き、副学長である青葉区の天下谷区長、講師であるNPO法人まちラボの大越代表理事から受講生の皆様にメッセージをお伝えしました。そして、「今、求められる共助コミュニティと令和の自治会町内会の運営と活動」

のテーマで、水津陽子さん（合同会社フォーティR&C代表社員 まちづくりコンサルタント）から基調講演が行われました。自治会町内会の地域コミュニティとしての可能性を、さらに広げるためのアドバイスや事例を、たくさん聴くことができました。今年度は、地区連合自治会・町内会長から推薦を受けた19名の受講生の皆様が集まりました。今回を含め全5回の講座を通じて、多くの学びがあることを願っています。



開校式 関根学長からご挨拶



基調講演を聴く受講生の皆さん

青葉区の魅力を探しにまちへ

開校式・基調講演の後、「見守り・居場所づくり」「担い手づくり」「防犯・防災」の3つのグループに分かれてまち探索に出かけました。

START !!

01 美しが丘公園

たまプラーザ駅から、「次世代郊外まちづくり」を象徴するCO-NIWA たまプラーザの「コミュニティコア」と「さんかくBASE」を経由して、美しが丘公園へ向かいました。美しが丘公園では、「6歳の私」をテーマに懐かしい思い出話で盛り上がりました。受講生の皆さんは、わずかな時間にも、親しくコミュニケーションを取っていました。

さあ！でかけよう
たまプラーザへ



CO-NIWA

さんかくBASE



02 100 段階プロジェクト



「ヨコハマ市民まち普請事業」の平成30年度整備提案に選考された「100 段階」を見学しました。この日は、ちょうど階段の塗り直しが行われており、ボランティアの方が大勢集まっていました。そしてプロジェクトのリーダーである藤井本子さんから、事業内容やプロジェクトに対する思いを伺うことができました。塗装の色や階段に貼られたプレートについても説明していただきました。地域に対する熱い思いも感じさせていただいたひと時でした。

03 平津 SUN サロン

美しが丘第六公園にある「平津 SUN サロン」を訪れました。こちらも、「ヨコハマ市民まち普請事業」に選考された建物です。自分たちの自治会館がなかった地域の方が何年もの年月をかけて作り上げたこのサロン。今では皆さんの円滑なコミュニケーションのために欠かせない大切な場所となっているようです。またこちらで株式会社ロコっち代表の藤村希さんから、「ジモト」を舞台に展開するロコっちの事業についてお話を伺いました。「ジモトをもっとアクティブに」をミッションに、地域の魅力の発信やサービスの提供を行っています。この日の最後に受講生全員で行った振り返りでは、「いろいろな出会いもあり、感じている課題に対して、何かきっかけが掴めそう」という感想があるなど、次回へ期待が膨らむ回となりました。



GOAL !!

自治会長に聞いてみよう！

中里連合自治会長 金子 茂文さん

地域活動を続けるコツは？

ここに住み続けたいと思ってもらうと自治会にも入ってくれて、行事にも出てきて挨拶を交わせる。とにかく、まちを好きになって住み続けたいと思ってもらふことからですね。

地域の一押しスポットは？

自然です。青葉区中里連合の中でも私の住んでいる鉄町は、山野や畑があり、梨も作っているんですよ。谷本川の周りも、最近は手入れが行き届いてきれいになりました。



青葉区民まつりのはっぴ姿で笑顔の金子会長

まちを好きになって
住み続けたいと
思っ欲しい



04

NAKAZATO

自治会活動で嬉しかったことは？

町内会の加入率が割と低かったのですが、3年間で40世帯ほど自治会員が増えたこと。また、行事を行った時、楽しかったと言ってくれた時は嬉しかったですね。

好きな言葉は？

長年、消防の仕事をしてきたので「誠実、基本に忠実」です。

中里北部連合町内会長 奥田 妙子さん

自治会活動で嬉しかったことは？

コロナの不安を感じながら、ウォークラリーやポッチャなどを開催した時に、子どもや保護者から楽しかったという声を聞いて、やってよかったなと思いましたね。

地域の一押しスポットは？

閑静な住宅街からふるさと村通りを歩いて行った先の寺家ふるさと村の緑豊かな田園風景ですね。人やワンちゃんの散歩コースにもなっていて、四季の自然を感じながらホッとできる場所です。

仲間が協力して
くれるから
続けていけるんです



好きな言葉は「あきらめなければ、何とかなる！」の奥田会長



05

NAKAZATO
HOKUBU

地域活動を続けるコツは？

地域活動はひとりではできなくても、一緒にいる仲間が協力してくれることで継続していけるんですね。先輩達の想いもつなぎながら、少しずつ若い人にもバトンタッチしていけたらいいなと思います。

発行年月日：2022年11月26日

発行・編集：青葉区役所 区政推進課 地域力推進担当 NPO 法人まちラボ

問合せ：青葉区役所 区政推進課 地域力推進担当 045-978-2286 ao-chiikiriyoku@city.yokohama.jp



企画・運営

NPO 法人まちラボ

NPO 法人まちラボは、学ぶ・楽しむ・きっかけづくり、集う・つながる・居場所づくり、助け合う・あたたかな関係づくり
誰もがまちづくりの当事者として参画できる地域社会を目指して活動しています。



青葉みらいづくり大学校 第2回

今年度の青葉みらいづくり大学校は、地域の「困った！」を持ち寄って、みんなのアイデアで「いいね！」に変えるまちづくり講座です。第2回は、「見守り・居場所づくり」「担い手づくり」「防犯・防災」というテーマで3つのグループに分かれ、地域の課題や活動について共有し、アイデアの種を見つけるワークを行いました。一言で地域活動といっても、取組み方は多様であることを実感できました。



1 まずはメンバーを知ろう！ 私の取扱説明書をつくる

皆さんが仲良くなるきっかけとして「私の取扱説明書」を作成しました。「自分を動物に例えると？」など9つの項目に答えるだけで自分を客観的に捉え、性格など分かりやすく伝えることができます。意外な面や共通点が見つかり、お互いに親近感を持つことができました。



3 アイデアシートを作ろう こうなったらいいな！

各グループの模造紙には、色とりどりのペンでアイデアがたくさん書き込まれていました。簡単に解決できないものもありましたが、「なるほど！」と頷けるものや、新たな視点が得られたワークでした。多くの意見交換をしたことで考えがリフレッシュされ、ワールドカフェで得た意見（アイデアの種）をもとに、こうなったらいいなという自分の思いを「アイデアシート」に記入しました。皆さんとても集中して取り組んでいました。



2 地域の困りごとを解決するには？ 求む！地域の困りごと解決のアイデア

ワールドカフェ方式の話し合いを行いました。最初は各グループ内でそれぞれの困りごとや課題を出し合い、それを模造紙に書き出します。次に全員が別のテーブルに移動してそこに書かれた困りごとに対してアイデアやヒントを出し合いました。ある地域の困りごとが他でも同じであったり、逆にその困りごとを解決した地域があったりと、多くの人と対話することで



新たな発見と驚きを得ると同時に、悩みの共感もできました。各テーブルでの制限時間15分があっという間で、熱を帯びた話し合いとなりました。



受講生の声

いろいろな考え、意見を聞いて課題解決に向けてヒントを得ることができた。具体的な方向付けを考えていきたい。



他地域との取組の違いなどもわかり自分の考えも整理できた。

ワールドカフェ方式の話し合いが大変参考になった。有意義だった。



自治会長に聞いてみよう！

市ヶ尾連合自治会長 蕪木 泉さん

地域活動を続けるコツは？

ヒューマンエラーはつきもの
です。サラリーマンの頃のと
うな考えを持ち込まないこと
ですね。

自治会活動で嬉しかったことは？

大きな事業の時に、私の全然知
らない役員が重い機材を運んで
くれるなど積極的に手伝ってく
れるときや、行事を子どもたち
が無邪気に喜んでくれるときが
嬉しいですね。

情熱と真心を
信条としています

地域の一押しスポットは？

稲刈りをする季節に、田んぼ
の中から見る北西線の動きは
格別ですね。地下から上がっ
て高架 30m 位をまたいで見
える光景は、なかなか見られ
ないかなと思います。



06
ICHIGAO

「自宅から見える景色も最高なんです」と蕪木会長

上谷本連合町内会長 杉浦 一夫さん

自治会活動で嬉しかったことは？

自治会活動をやっていて、地域
の皆さんが行事や活動に積極的
に参加していただけることに、
感謝ということしかないですね。

地域活動を続けるコツは？

スタッフの皆さんが、協力して
積極的にやったださるので継
続されている。この2～3年
コロナでできなかった行事を、
元のように再開できることを望
んでいます。

つながりと信頼関係を
大切にしています



07
KAMIYAMOTO

地域の一押しスポットは？

藤が丘と青葉台に徒歩で通える戸
建住宅が主体の住宅地です。中里
学園跡地に開校した神奈川県立あ
おば支援学校や、住宅地の中に「も
えぎ野ふれあいの樹林」もあって、
緑も多く暮らしやすい地域です。
美味しいお店も多いです。

「感謝」という言葉が一番好きという杉浦会長

発行年月日：2022年12月17日

発行・編集：青葉区役所 区政推進課 地域力推進担当 NPO 法人まちラボ

問合せ：青葉区役所 区政推進課 地域力推進担当 045-978-2286 ao-chiikiryou@city.yokohama.jp



企画・運営

NPO 法人まちラボ

NPO 法人まちラボは、学ぶ・楽しむ・きっかけづくり、集う・つながる・居場所づくり、助け合う・あたたかな関係づくり
誰もがまちづくりの当事者として参画できる地域社会を目指して活動しています。



青葉みらいづくり大学校 第3回

青葉みらいづくり大学校は、地域の「困った!」を持ち寄って、みんなのアイデアで「いいね!」に変えるまちづくり講座です。第3回目の講座の目的は、自分の地域の取組が他の地域にとっても課題解決につながることを実感してもらうことでした。前半は、区内の代表的な3つの事例の紹介を聞き、そこから参考にしたい「学びポイント」は何かを考えました。後半は、グループワークで受講生自身の地域の良い取組を出し合い、それぞれの取組の成功要因は何かについて意見交換しました。



事例紹介の様子

地域の事例から学ぼう!



奈良町連合自治会
関根会長

地域防犯パトロール 奈良町地区

毎月27日の交番の日に自治会・警察・消防・PTAとの合同の防犯パトロールを実施。近隣の町田市成瀬台町内会等との合同のパトロールなど、行政区域を超えた地域住民の連携にも取り組んだ。親子や中学生の参加など多世代の取組で参加者も年々増加している。



荇田西地区社会福祉協議会
松山会長



荇田西憩いの広場

荇田西地区

荇田西コミュニティハウス、連合自治会、民生委員児童委員協議会、友の会のサポートで地区社会福祉協議会が運営。憩いの広場と近隣の公園でラジオ体操を週4日、年間約200回開催している。ウォーキングや昼食会にも利用。住民同士が顔見知りになり、健康観察の機会となっている。



焼き芋会 青葉台地区



「桜台公園」を知ってもらうために、愛護会や商店会、パークレンジャーが準備し活動開始。連合の区域内にある5つの小学校と近隣の2つの小学校も参加。600人を超える参加者と200人のスタッフで運営し、自治会と商店会、行政が連携し様々な課題に取り組んでいる。



青葉台連合自治会
山川会長

わが街のマネしてポイントは?



上手くいっているポイントどんなところ?



グループワーク

このワークでは「自分の自治会活動でうまくいっている事業事例」を付箋に書いてそれぞれに発表してもらいました。良いところ自慢なら任せてと、皆さん熱心に取り組ま

ていました。またその事例について「自治会以外の団体との連携」「次世代の参画」「地域住民のメリット」「地域への波及効果」の4つの成功ポイントとの関連を分析し意見を出し合い、「長く続いている活動は連携している団体が多い」など、活動を継続するために必要な要素に気づくこともできました。講座終了後もグループワークの盛り上がりそのままに、話が弾んでいる受講生の輪がいくつもありました。

グループ発表

見守り・居場所

地域ではさまざまな取組が行われている

↓
連携することで多世代の居場所づくりを

担い手

プレ敬老会をイメージしたオヤジの会が発足

↓
ボランティア組織として地域で活躍中

防犯・防災

パトロールや防災訓練は実施しているところが多い

↓
次のステップとして何が必要か
団体間の連携
子どもの参加が親に波及



自治会長に聞いてみよう！

谷本連合自治会長 飯田 敬さん

地域活動が続けるコツは？

体育祭など、地域の色々な活動を何とかやっていかなければという気持ちで持続している感じですね。誰かが引っ張っていかないといけないですからね。

自治会活動で嬉しかったことは？

藤が丘駅前のメイン通りの清掃活動をしています。地域の皆さんが参加して、協力して下さったのが嬉しかったですね。各町内会でも地域清掃に取り組んでいただいていることに感謝しています。

夢を持ち続けることが信条です

地域の一押しスポットは？

野球やサッカーのグラウンドや様々な活動のできる多目的の広場もあり、地域住民の憩いの場でもある谷本公園ですね。

好きな言葉・信条は？

「夢」です。できないこともあるけれど、いつまでも持ち続けたいと思っています。



YAMOTO



やさしい笑顔の飯田会長

恩田連合自治会長 久保田 実さん

自治会活動で嬉しかったことは？

詐欺などの防犯活動を地元の学生たちと一緒に開催した時に、中学生が「ばあちゃんが騙されそうになった時に」と親しみを込めて発言していた。地域で育った子どもたちがいつか地域に戻ってくる。そこを意識して自治会活動をしています。

地域の一押しスポットは？

こどもの国線恩田駅。駅前に水田や畑の田園風景が広がっています。自然を維持していくのは大変ですが、この地域に住んでよかったと思ってくれると嬉しいです。

地域を大切にしたいです

地域活動が続けるコツは？

新規住民も多く、夏祭りなどでは上手に新しい意見を取り入れながら新旧の良い交流ができています。オンラインを取り入れる等、新しい意見と従来の意見も尊重していかなければと思います。

「新旧の意見を尊重したい」と久保田会長



ONDA



発行年月日：2023年1月21日

発行・編集：青葉区役所 区政推進課 地域力推進担当 NPO 法人まちラボ

問合せ：青葉区役所 区政推進課 地域力推進担当 045-978-2286 ao-chiikiriyoku@city.yokohama.jp



企画・運営

NPO 法人まちラボ

NPO 法人まちラボは、学ぶ・楽しむ・きっかけづくり、集う・つながる・居場所づくり、助け合う・あたたかな関係づくり 誰もがまちづくりの当事者として参画できる地域社会を目指して活動しています。



青葉みらいづくり大学校 第4回

「青葉みらいづくり大学校 2022」もいよいよ大詰め。1月21日に第4回講座を実施いたしました。前半は地域のお気に入りの場所を紹介する「私のイチオシ」1分プレゼンからスタート。続いて受講生が自身の地域の良い取組を発表して、全員で共有しました。後半はいよいよ最終回に発表するマイプラン作り。アイデアの種を見つけるワークに取り組み、さらに第2回、第3回に取り組んだワークの中から、課題解決に繋がる必要な要素を抽出してマイプランの方向性を見いだしました。次回は最終回でマイプラン発表会と卒業式です。みなさんの「マイプラン」を楽しみにしています。



私の好きな地域のイチオシ

受講生の皆さんに「私の好きな地域のイチオシ」を1分間スピーチで発表してもらいました。ご自身で撮影された写真や紹介画像を見ながら皆さんの地元愛に溢れた熱意ある紹介で大いに盛り上がりました。青葉区の奥深い魅力を皆さんと再発見するとともに、最終回のマイプラン発表会の予行演習にもなりました。



私の好きな地域のイチオシでは地元ならではの情報がたくさん

マネしたい地域の取組を聞こう！

第3回で行ったワーク「わが街のマネしてポイント」の中から、もっと詳しく知りたい地区の取組を5人の受講生が紹介しました。

災害時の安否確認用に黄色いタオルを配布しています。防災の日には防災意識を高めるために実際にタオルを掲げる訓練をしています。「自治会だより」はお店情報の掲載もあり、多くの方の目に留まるよう色々な場所に配布しています。



美しが丘四丁目南自治会 古谷さん

自治会配布物の仕分け作業を軽減化したり、地域を見守る「気づきの和」の活動を横断的に行っています。広報誌は読みやすい工夫をして、町内会イベントや地域の情報を発信しています。



鴨志田町内会 戸塚さん

いざという時に役立つ防災ハンドブック（『東京防災』）や地域独自の防災セットをワンセットにして全戸配布しています。災害時に1人でも多くの命が助かるようにとの思いで取り組みました。



美しが丘四丁目北自治会 藤本さん

プレ敬老会をイメージしたオヤジの会が発足して、得意な分野で力を発揮しながら地域で活躍しています。将来の担い手として期待されるPTAとの協力関係も大切にしています。



あざみ野東自治会 吉村さん



荏子田自治会 井上さん

地域のサークル活動がとても盛んです。新たに転入された皆さんに自治会のことを知っていただくために「ようこそ荏子田自治会へ」という冊子を配布しています。まずこの冊子をお渡しして、加入のお声掛けをしています。

さあ！マイプランをつくろう

1 アイデアシートを完成させよう！

今までのグループワークで出たアイデアをまとめた資料を参考にしながら、自分の「アイデアシート」を完成させていきました。シートの裏側までアイデアの種で一杯になった受講生もいました。その後、グループ内でそれぞれ自分のアイデアを発表して意見交換をしました。

2 アイデアシートからマイプラン作成へ

いよいよマイプラン作成です。「マイプランシート」に課題や課題を解決するための具体的な計画を記入していきました。最初に考えたアイデアシートの内容を発展させて、完成度の高いプランになっていきました。



自治会長に聞いてみよう！

奈良北団地連合自治会長 内田 清高さん



自治会活動で嬉しかったことは？

50年の間に団地の小学生は25名位と少なくなったのに、夏祭りになると、子どもや孫たち、団地を故郷と思う人々が帰ってきて、大勢で賑わうことがとても嬉しいです。

環境がよく
緑豊かなところが
自慢です



好きな言葉は「生涯青春」という内田会長

地域活動を続けるコツは？

あくまでもボランティアですから無理すると長続きしなくなっちゃう。できる範囲内でいいからと声を掛けることが必要な。「ひとつの事なら」と手伝ってくれる人が増えると、皆で協力して地域をより良くしていけると思います。

地域の一押しスポットは？

環境がすごく良い。周囲の地域が開発されて自然が削られてしまったのに、団地だけは今でも緑がいっぱいあり、癒されています。

山内連合自治会長 工藤 明さん



自治会活動で嬉しかったことは？

自治会の様々なイベントの際に、地域の方が協力して、私が気づかないようなところまで気を配ってくれることかな。それが非常に嬉しいです。

好きな言葉は
「良樹細根」です



防犯パトロールの制服姿で工藤会長

地域活動を続けるコツは？

自分ひとりじゃ何もできないけれど、決めたことやこんな風にしたと話し合ったことに対して、全ての役員さんが協力してくれることだと思います。

地域の一押しスポットは？

田園都市線沿線でも歴史があり、大規模な祭礼を行う驚神社と國學院大學周辺の桜並木。山内地区は公園が多く、美しが丘西の保木公園では、ソフトボールやグラウンドゴルフができます。自然も豊かで、住民の皆さんが散歩を楽しんだり、交流できる場所も多く、地域の魅力です。

発行年月日：2023年2月4日

発行・編集：青葉区役所 区政推進課 地域力推進担当 NPO 法人まちラボ

問合せ：青葉区役所 区政推進課 地域力推進担当 045-978-2286 ao-chiikiryou@city.yokohama.jp



企画・運営
NPO 法人まちラボ

NPO 法人まちラボは、学ぶ・楽しむ・きっかけづくり、集う・つながる・居場所づくり、助け合う・あたたかな関係づくり
誰もがまちづくりの当事者として参画できる地域社会を目指して活動しています。



青葉みらいづくり大学校 第5回

11月にスタートした「青葉みらいづくり大学校2022」も2月4日に最終回を迎えました。最終回はこれまでの講座で学んだことを活かし、受講生各自で練り上げたマイプランの発表と卒業式です。防災を切り口にした地域交流のプラン、地域の情報共有を向上させるプラン、担い手を発掘するためのプラン等、地域課題に向き合う中から生まれた多様なプランを、思いを込めて発表していただきました。会場には連合自治会・町内会長の皆様や社会福祉協議会、地域ケアプラザの皆様が大勢ご出席くださり、心強い応援団となっていただきました。卒業生のお一人おひとりが、プランの実現に向けて、地域の皆様と共に歩みを進めてくださるよう、これからも応援し続けていきたいと思ひます。



学長、副学長、連合自治会・町内会長、受講生の皆さんと

マイプラン発表

いよいよ、受講生の皆さんが温めてきた思いを3分間にまとめて発表します。ほとんどの方が制限時間内にお話しされ、改めて皆さんのプレゼン力を感じました。ご出席の皆様には発表後、時間が限られている中で、それぞれの受講生に向けて、本当に多くのご意見や応援メッセージを書いていただきました。このことは受講生の皆さんの大きな励みになることと思ひます。短い期間でのマイプラン作成、そして発表、本当にお疲れさまでした。



交流タイム

マイプラン発表の後は、発表を聴きにこられた方々と受講生との交流タイムになりました。



プランについて
もっと詳しく
聴きたい



交流の輪が
あちらこちらで

ぜひ応援したい
という声も!

卒業式

天下谷副学長のご挨拶の後、関根学長から受講生一人ひとりに卒業証書が手渡され、応援のお言葉をいただきました。



卒業式を終えて…

椅子を持って円座になり、一人ずつ講座全体を振り返りました。全ての過程を終了してホッとした雰囲気と、一緒に乗り越え「仲間」になった安心感で和やかに進みました。「今後も定期的に情報交換していくことになった!」という嬉しい報告もあり、講座で撒かれた種が、やがて実を結び「住みつけたい・住みたいまち 青葉」につながる可能性を感じました。



受講生の声

- 自治会活動は、地域ごとの特性を取り入れる、また活動を楽しむことが長続きの秘訣だと分かった。
- 他の自治会活動の良いところを学ぶことができたと共に、みんなが似たような課題を抱えていることが分かった。
- 皆さんの考えに共感することがたくさんあった。今後の活動に活かしたい。



つつじが丘自治会
武智さん
かまどベンチって!?
~であってみよう!
つかってみよう!~



上市ケ尾町内会
松尾さん
青葉区を歩き、
歴史・人・アート
を実感する



美しが丘四丁目北自治会
藤本さん
自治会の魅力、
メリットのアピール

荏子田自治会
井上さん
竹林を楽しむ
遊歩道づくり



もえぎ野町内会
村田さん
担い手不足解消、
継承プロジェクト



柿の木台町内会
佐々木さん
あおば・つながる
交流プラットフォーム



宮ヶ谷自治会
小柴さん
健康ウォーキング
の充実



美しが丘四丁目南自治会
古谷さん
自治会役員の
担い手(後継者)作り
プロジェクト



北ヶ谷自治会
丸田さん
魅力づくり、
魅力発掘が、
地区の活性化の栄養源



MY PLAN

青葉みらいづくり大学校 2022

鴨志田町内会
戸塚さん
気づきの和連絡会
「気づきシート」
プロジェクト



もみの木台自治会
佐藤さん
あおば親子テーブル
~ Susukino ~

鴨志田町内会
大路さん
キャンプ de 防災!!



元石川平川自治会
金子さん
農産物収穫体験を
通じたご近所顔合わせ
井戸端会議の開催



あかね台一丁目自治会
日高さん
あかね台一丁目自治会
IT化プロジェクト



あざみ野東自治会
吉村さん
あざみ野東自治会会員
は自治会に何を期待し
ているのかアンケート



新荏子田第三自治会
大場さん



桜台東自治会
山口さん
桜台東自治会・高齢
情報弱者支援防災
特別プロジェクト



桜台東自治会
今井さん
~防災の拠点・住民の
コミュニケーション強化~
我が地区・町に「自治会館」
を建設しよう!



自治会長に聞いてみよう！

荇田連合自治会長 徳江 傅三さん

自治会活動で嬉しかったことは？

3年前の夏祭りは、花火も打ち上げて1万人くらいの来場がありました。事故無く終わった時は最高でしたね。

地域の一押しスポットは？

あざみ野南の街並みです。つつじ、ハナミズキと順に咲くように植えられ、花の色も赤や白と通りによって違う色になるように工夫されています。桜の花も美しいですね。



声をかけることが
次のステップに
つながります



地域活動を続けるコツは？

親しく声をかけていくことです。地域の色々な人と接していく中で、感動できることがあれば最高だし、それが地域活動の次のステップにつながっていくと思います。荇田地区に住んで良かった、これからも住み続けたいと思ってもらえるような活動をしていきたいです。

「時代が変わっても心は変わってはいけない」と徳江会長

新荇田連合自治会長 岩谷 力さん

自治会活動で嬉しかったことは？

ごみの問題を解決した時に、その地域にお住いの方が「ここに住んでいてとても良かった」と話してくれました。それがとても嬉しかったですね。

地域活動を続けるコツは？

地域活動って断るのが下手な人がやっていると思っているので、無理をしない、義務じゃないんだよと伝えることが継続のコツだと思います。



無理をしないことが
継続のコツです



地域の一押しスポットは？

夕焼けに染まる富士山がとてもきれいに見えるスポットです。

好きな言葉や信条は？

自分のできることしよう。できないことはできない。無理はしない。

「新横浜の夜景もきれいにるんですよ」と岩谷会長

まちラボから受講生の皆さんへメッセージ



- ・皆さんのプランに青葉区の明るい未来を感じました。実現に向けて、お手伝いさせていただきます！（白石）
- ・マイプランから地域を想う仲間が集まり、つながっていくことを私たちも応援していきます。（川島）
- ・地域への熱い想いを元にして生まれた様々なアイデアの実現に向けて、これからも応援しています！（安井）
- ・皆さんのプランには、自治会町内会活動がさらに進化する要素が、たくさん詰まっていると感じました。まさに可能性の塊です。（大越）

自治会長に聞いてみよう！

すすき野連合自治会長 依藤 守男さん



14

SUSUKINO

自治会活動で嬉しかったことは？

自治会活動をやると、行政の方や様々な方とお会いしてお話を聞く場が増えて、自分の住んでる地域がどんなかたちで動いているのか初めて知ることができました。

地域の問題を
みんなで話し合う
ことが大事です



好きな言葉は「人に迷惑をかけない」という依藤会長

地域の一押しスポットは？

広域避難場所にも指定されているくらい、住居が密集していません、道幅が確保されていて住みやすい街だと思います。公園の数も多く閑静な街です。当時としては東急電鉄のまちづくり開発も良かったと思います。

地域活動を続けるコツは？

地域をどのようにしたら良いか、今何が問題なのかということ、みんなで討議しながら作り上げていく時代に入ったと思います。話し合うことが大事ですね。

美しが丘連合自治会長 辺見 真智子さん



15

UTUKUSHIGAOKA

自治会活動で嬉しかったことは？

主催した行事に思いがけず多くの方が参加して、良かったと言ってくれたこと。これからはさらに時代に即した、魅力のある自治会の行事、活動を考えていきたいですね。

地域のことを
一緒に考える
仲間が大切です



好きな言葉は「一期一会」という辺見会長

地域の一押しスポットは？

美しが丘公園です。緑が多く花壇もよく手入れされ、また健康器具が設置された「健康づくり公園」でもあり、街のシンボリックな存在です。公園清掃は毎月1回、商店会と協力。隣接の多目的広場は少年野球やサッカー教室、ソフトボールクラブや老人会が利用しています。

地域活動を続けるコツは？

行事や会議でさまざまな体験を共有し、同じ課題を一生懸命考える地域の仲間と打ち上げて飲むビールが一番楽しいですね。この数年はコロナ禍でなかなか集まることのできないのが残念ですが。

発行年月日：2023年3月6日

発行・編集：青葉区役所 区政推進課 地域力推進担当 NPO 法人まちラボ

問合せ：青葉区役所 区政推進課 地域力推進担当 045-978-2286 ao-chiikiryou@city.yokohama.jp



企画・運営

NPO 法人まちラボ

NPO 法人まちラボは、学ぶ・楽しむ・きっかけづくり、集う・つながる・居場所づくり、助け合う・あたたかな関係づくり
誰もがまちづくりの当事者として参画できる地域社会を目指して活動しています。